

学校目標	高いプロ意識を持ち、お客様とのコミュニケーションを第一に、専門的な知識と技量の向上に努め、社会で自立し活躍する理容師・美容師を育成する。 (現場で評価され信頼される理容師・美容師を育成する)
生徒目標	・プロを目指し、プロとして振る舞い、プロになる ・お客様に喜ばれ、満足され、信頼されるステキな理容師・美容師となる
学校テーマ	キレイのプロはTORIBIで生まれる

評価項目	現状と課題	今年度の目標	目標達成のための方策
1 教育課程編成	○「理容師・美容師養成施設における養成課程の標準的なカリキュラム」(厚生労働省)に則った教育課程の編成を継続する。 ○選択必修科目には、トータルビューティを学ぶ授業を継続して開講するとともに、ビジネススキルの基礎となる「ビジネスマナー」の授業では、社会人としての教養や将来の専門分野に関する選択幅を拡げている。 ○国家試験の合格率が85%であった。目標93%以上を下回る結果となり、対策が必要である。	○本校がめざす「トータルビューティ」について学生の理解を深める。 ○国家試験の合格率93%以上をめざす。	○トータルビューティの考え方についてあらゆる機会を通じて説明に努める。 ○トータルビューティを充実させるための教科の在り方について研究する。 ○国家試験合格に向けて昨年度の成果と課題を明確にし、合格に向けて取組、対策の充実発展に努める。
2 授業内容と研修	○国家試験対策の従来型の授業が多く、学生の興味関心が薄れる場面が見られる。学習意欲の維持、向上に向けた取組が必要である。	○学生が興味関心を持ち、主体的に学び、学習意欲を喚起するような授業をめざし、授業改善に取り組む。	○学生が主体的に企画、立案、活動し、発表できる大会、行事等を計画、取り組んでいく。 ○教員の授業力、指導力向上をめざし、他校の学校訪問を実施する。また、校内での研究授業、講師を招聘した研修会、職員研修を実施し、授業改善に努める。
3 生徒募集と生徒支援	○理美容系専門学校を目指す県内高校生の7割が県外へ進学している。 ○入学時の基礎学力や学習意欲に学生個々の差が大きい。 ○学生の多様化、特別な配慮、支援を必要とする学生が増えてきている。	○理美容系をめざす学生が一人でも多く、本校へ希望するよう情報発信と、学校の魅力アップに努める。 ○個々の学生を大切に、目標達成に向けて教職員がチームとなって指導支援に努める。	○オープンキャンパス、セミナー等を充実させ、学生募集の有効な取組とする。HP、SNS等を駆使し情報発信、学生募集に取り組む。 ○支援が必要な学生に関する研修会を実施する。 ○日常の会話、面談等を通じて個々の学生の状況把握に努め、早期の対応に務める。
4 教育環境の整備	○建物、施設・設備は老朽化が始まり、計画的な修理、更新を行う。 ○校舎内の環境は、日々の掃除が不十分で清潔感に欠ける。 ○購入物品が多く、物があふれている。 ○用具の整理整頓、効率的な活用を図る必要がある。	○学習環境の整備、必要な修繕等に出来るだけすみやかに対応する。 ○備品、購入物品、校内の清掃等含め整理、整頓、清掃、清潔に務め、それを維持するように取り組む。	○修理、取替が必要な箇所については計画的に修繕、取替を実施することが出来た。耐震診断については今後の課題である。 ○校内の清掃活動について清掃が不十分な箇所も有り、取組に課題があった。清掃活動の徹底に努める。 ○玄関を中心に学生作品の展示、掲示物の工夫をする。
5 学校運営全般	○理事、教職員、学生が共に教育目標に対する方向性を揃え、風通しの良い組織の構築を一層進める。 ○若手教員の採用が進み、資質の向上、校務運営に必要な知識の習得、業務改善に向けた取り組みが必要である。 ○新型コロナウイルス感染者が複数出たため学級閉鎖を行った。5類に変更になったが、引き続き感染防止対策を実施していく必要がある。	○情報の共有化を図り円滑な校務運営に努める。 ○教職員の校務に必要な知識の習得、業務改善に向けて資質向上に取り組む。 ○新型コロナウイルス感染防止にむけ基本的な対策を維持、継続する。	○教職員の待遇改善を行い、意欲向上に努めた。 ○教職員が将来ビジョンについて共通理解を図り、資質向上をめざした研修会を計画、実施していく。 ○コロナ対応等の基準の見直しも含め、関係機関と連携して取り組んでいく。